



平成 21 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 オエノンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 長井 幸夫
(コード番号 2533 東証・大証・名証第一部、札幌)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
高橋 孝通(TEL 03-3575-2777)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 2 月 8 日の決算発表時に公表した平成 20 年 12 月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 12 月期連結業績予想数値の修正
(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(単位;百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 2 月 8 日発表)	80,000	2,050	2,000	900	13円76銭
今回修正予想(B)	82,800	1,470	1,480	460	7円04銭
増減額(B-A)	2,800	△580	△520	△440	—
増減率	3.5	△28.3	△26.0	△48.9	—
(ご参考)前期実績 (平成 19 年 12 月期)	77,439	1,434	1,493	727	11円12銭

2. 修正の理由

米国発の金融危機に端を発した経済環境の悪化から、個人消費の減退が続いております。個人の生活防衛意識は更に高まり、消費の二極化が鮮明となっております。

当社はそうした市場環境を迅速かつ的確に捉え、消費者ニーズにマッチした「お手頃価格」の商品の拡売を進めた結果、前回予想を上回る売上高の計上となる見込みであります。

一方、営業利益、経常利益においては大麦、重油等原材料価格の高騰や昨年 9 月に発生した「事故米」事件の影響を受け、ほぼ前年度利益は確保したものの、前回予想を下回る見込みであります。

当期純利益については、経常利益の減少、蒸留設備の減損処理等特別損失の計上により、前回予想を下回る見込みであります。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上